

# ちょっとだけ日本語文法

にほんごぶんぽう

## 形容詞

けいようし

「青い海」「恋しい故郷」のように名詞を修飾したり、「海は青い」「(私は)故郷が恋しい」のように主語におかれた名詞の状態を言い表し、活用をもつ語を「形容詞」と言います。「海は青い」のように、物や人の性質をあらわす「属性形容詞」と「(私は)故郷が恋しい」のように人の感情を表す「感情形容詞」があります。

## 形容詞の種類と活用

けいようし しゅるい かつよう

### ★形容詞の用法・活用と「い形容詞」・「な形容詞」

けいようし ようほう かつよう けいようし けいようし

形容詞には①名詞を修飾する用法、②動詞を修飾する用法、③文末などで主語の性質を述べる用法があります。

しゅご せいしつ の ようほう

①名詞を修飾する際、形容詞が名詞の前で「い」で終わる場合と「な」で終わ

る場合があります。「い」で終わる「い形容詞」と「な」で終わる「な形容詞」、

日本語にはこの2種類の形容詞があります。

にほんご しゅるい けいようし

い形容詞 けいようし	名詞修飾 めいししゅうじやく	な形容詞 けいようし	名詞修飾 めいししゅうじやく
おいしい	おいしい みかん	静か	静かな 町
安い	安い 服	便利	便利な 辞書
楽しい	楽しい ゲーム	すてき	すてきな 人

い形容詞の辞書形(辞書の見出しに使われる形)はすべて「い」で終わります。な形容詞はそれ自体は変化せず、文中の位置に応じて「だ」「な」「で」などを付けて使います。また、「きれい」「きらい」は「い」で終わっていますが「な形容詞」です。

けいようし

②動詞を修飾する場合は次のように変化します。

- ・(い形容詞) おいしい→おいしく作る (「い」→「く」に変える)
- ・(な形容詞) 静か→静かに話す (「に」を加える)

また、2つ以上の形容詞を並列するときは、い形容詞の場合「安くておいしいたこ焼き」のように「安~~か~~+くて」、な形容詞の場合は「親切でやさしい人」のように「親切~~か~~+で」の形になります。

③「私の部屋は広いです」「この辞書は便利だ」など、形容詞が文末に来る場合、「広いです」のように丁寧な言い方をする「丁寧体」と「便利だ」のように普通の言い方をする「普通体」があります。丁寧体と普通体の肯定・否定、非過去・過去の活用は以下ようになります。(非過去とは「過去以外」を表します)

		肯定 こうてい		否定 ひてい	
		丁寧体 ていねいたい	普通体 ふつうたい	丁寧体 ていねいたい	普通体 ふつうたい
い形容詞 けいようし	非過去 ひかこ	高いです たか	高い たか	高くないです たか 高くありません たか	高くない たか
	過去 かこ	高かったです たか	高かった たか	高くなかったです たか 高くありませんでした たか	高くなかった たか
な形容詞 なけいようし	非過去 ひかこ	便利です べんり	便利だ べんり	便利では(じゃ)ないです べんり 便利では(じゃ)ありません べんり	便利では(じゃ)ない べんり
	過去 かこ	便利でした べんり	便利だった べんり	便利では(じゃ)なかったです べんり 便利では(じゃ)ありませんでした べんり	便利では(じゃ)なかった べんり

※な形容詞「～では」は、話し言葉では「～じゃ」になることが多いです。

## 副詞

ぶくし

動詞・形容詞・他の副詞を修飾して、動作・状態の様子や程度、話し手の気持ちを表す働きをする活用を持たない語です。

量や程度を表す「程度副詞」、動作や状態の様子を表す「様態副詞」、話し手の感情を表す「誘導(陳述)副詞」の3つに分けるのが一般的です。

### ①程度副詞

ていどぶくし

形容詞や一部の動詞と一緒に使われます。

けいようし いちぶ どうし いっしょ つか

・少し、なかなか、ちょっと等

すこ など

例) 少し寒い、なかなかおいしい、とても美しい花、ちょっと驚いた

れい すこ さむ うつく はな おどろ

### ②様態副詞

ようたいぶくし

動きを表す語と一緒に使います。動きを表す語とは動作動詞です。

うご あらわ こ いっしょ つか うご あらわ こ どうさどうし

また擬声語や擬態語が多数含まれます。

ぎせいご ぎたいご たすう ぶく

・ゆっくり、さっさと、うろうろ、ねちゃっと等

れい など

例) ゆっくり近づく、さっさと片付ける、うろうろ歩く、ねちゃっと張り付く

れい ちか かたづ ある は つ

### ③誘導(陳述)副詞

ゆうどう ちんじゆつ ぶくし

話し手が自分の話す内容に対して、どのような気分・感情・判断・態度をもっ

はな て じぶん はな ないよう たい きぶん かんじよう はんだん たいど

ているかを表します。特定の文末表現と呼応するのが基本的用法です。

あらわ とくてい ぶんまつひようげん こおウ きほんてきようほう

・決して～ない、まるで～ようだ、もし～なら

けつ

例) 決して負けない、まるで子どものようだ、もし明日天気なら

れい けつ ま こ あす てんき



「～ではありません」「～ではないです」  
「～くありません」「～くないです」

形容詞の丁寧体の否定の形には「ありません」「ないです」  
けいようし ていねいたい ひてい かたち  
の2パターンあります。使用する教科書などで異なりますが、  
ぱたーん じよう きょうかしょ こと  
このテキストでは両方の表現を載せています。  
てきすと りようほう ひようげん の